

令和 5 年度 地域包括支援センター 上半期事業報告

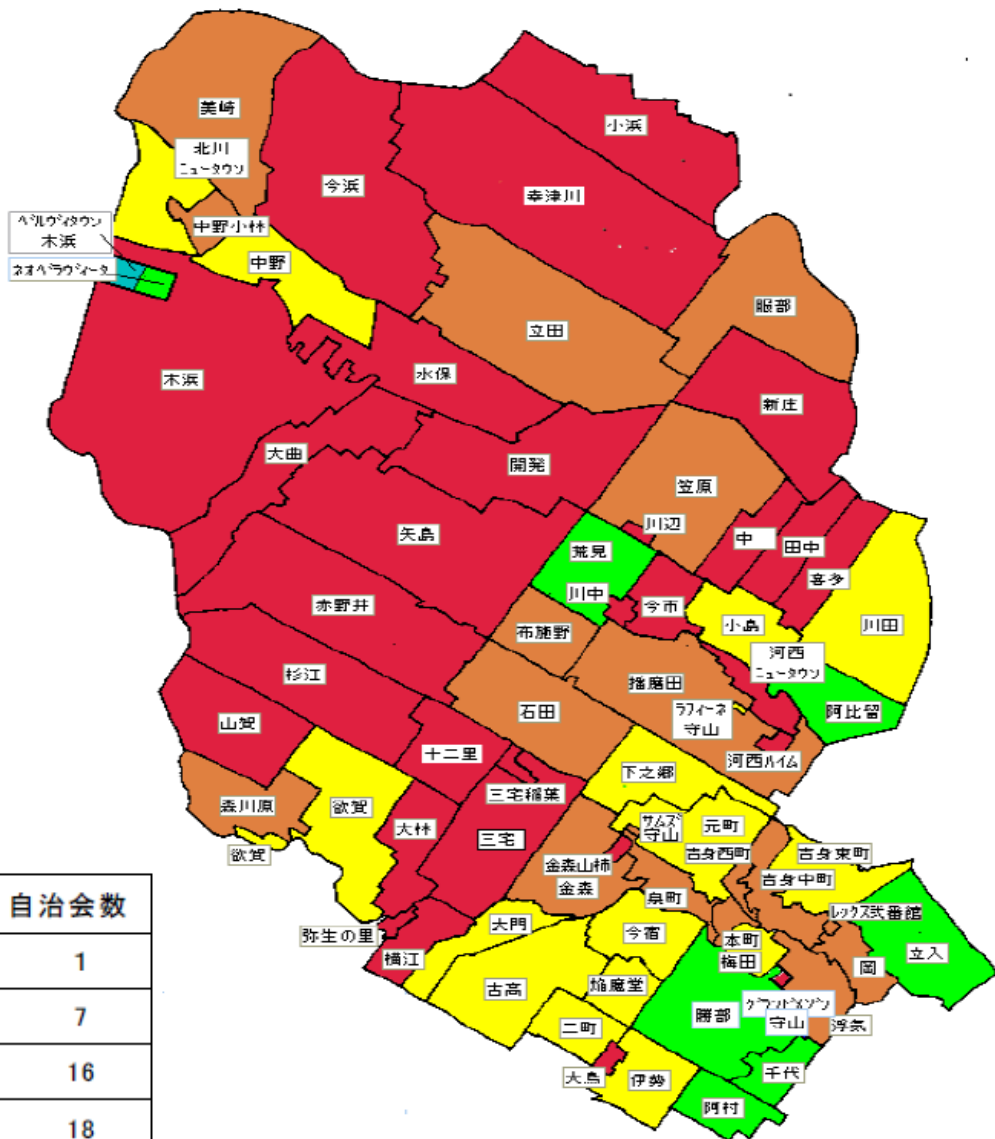
守山市の人口および高齢化率

令和5年10月1日現在	人数・率
総人口	85,846人
65歳以上人口	19,177人
高齢化率	22.3%
高齢化率（全国）※	29.1%
高齢化率（滋賀県）※	27.1%
世帯数	34,900世帯

2025年(令和7年)推計	人数・率
総人口	86,328人
65歳以上人口	19,344人
高齢化率	22.4%

※全国、滋賀県の高齢化率：
令和5年10月現在の概算値

凡例	自治会数
7%未満	1
7%以上(高齢化社会)	7
14%以上(高齢社会)	16
21%以上(超高齢社会)	18
31%以上	29



(合計 71 自治会)

センターの人員体制

※令和5年10月1日現在

基幹型



◆所長
(保健師)



◆係長
(行政職)

◆事務員 2人

計 24人

介護予防ケアマネジメント

- ◆行政職 2人 ※
- ◆ケアプランナー
(看護師) 2人

センターの機能充実 (地域ケア会議含む)

- ◆保健師 2人 ※

圏域センターの後方支援

- ◆保健師 6人 ※
- ◆危機管理専門員 1人

在宅医療・介護連携推進事業

- ◆保健師 2人 (うち1人※)
- ◆主任介護支援専門員 1人
- ◆看護師 1人

認知症総合支援事業

- ◆保健師 3人 ※
- ◆看護師 1人
- ◆社会福祉士 1人
- ◆介護福祉士 1人

一般介護予防事業

- ◆保健師 1人
- ◆看護師 1人
- ◆理学療法士 2人 ※

(※…他の業務と兼務)

南部

担当学区：守山、小津

人口：33,714人、

高齢者人口：6,567人、高齢化率：19.5%



◆所長
(社会福祉士、
介護支援専門員)

- ◆保健師 1人
- ◆社会福祉士 1人
- ◆主任介護支援専門員 1人
- ◆介護支援専門員 1人

計 5人

中部

担当学区：吉身、玉津

人口：22,132人、

高齢者人口：5,082人、高齢化率：23.0%



◆所長
(社会福祉士、
主任介護支援専門員)

- ◆保健師 1人
- ◆社会福祉士 1人
- ◆介護福祉士 1人
- ◆社会福祉主事 1人

計 5人

北部

担当学区：河西、速野、中洲

人口：30,000人、

高齢者人口：7,528人、高齢化率：25.1%



◆所長
(主任介護支援専門員)

- ◆保健師 1人
- ◆看護師 1人
- ◆主任介護支援専門員 2人

計 5人

1 総合相談支援業務

高齢者が住みなれた地域で安心してその人らしい暮らしができるよう、各圏域包括窓口においてワンストップの相談受付を行い、課題を整理し、地域のサービス、介護保険制度の利用支援および関係機関との連携を図りました。

また、相談内容により緊急性に応じた迅速な対応に努め、困難事例についても、基幹型と圏域包括が連携を図り、対応を行いました。さらに、複合的な課題がある事案においては、関係課等と連携するなか支援に努めました。

【総合相談支援業務】 (市全体 相談件数： 11,410 件) 高齢者人口は令和5年10月1日時点

単位：件	項目	令和3年	令和4年	令和5年
南部	相談延べ件数	5,419	5,608	3,142
	高齢者人口 6,567人	うち緊急性が高いケース	833	409
中部	相談延べ件数	4,862	6,221	3,785
	高齢者人口 5,082人	うち緊急性が高いケース	1,212	612
北部	相談延べ件数	6,739	6,807	4,483
	高齢者人口 7,528人	うち緊急性が高いケース	675	952

【主な相談案件】

- ・ 介護サービス利用・ケアマネ調整に関する相談
- ・ 民生委員・児童委員、自治会長からの相談
- ・ 権利擁護に関する相談
- ・ 生活困窮に関する支援
- ・ 独居高齢者への支援
- ・ 認知症高齢者等への対応
- ・ 住み替えに関する相談
- ・ 精神疾患のある高齢者に対する相談



【主な相談案件】

認知症の困難事案、行方不明事案、高齢者虐待、安否確認等の緊急支援・緊急搬送、警察対応、複合課題があり他課連携が必要な事案

【基幹型と圏域相互の相談・連携】

単位：件	項目	令和3年	令和4年	令和5年
南部	相談延べ件数	520	557	294
中部	相談延べ件数	328	609	392
北部	相談延べ件数	613	666	488

2 権利擁護業務

自己の権利や援助のニーズを表明することが困難な高齢者への支援を行うために、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業の利用についての相談や利用支援を行いました。また、地域包括支援センターが高齢者虐待の通報を受理した場合は、高齢者虐待担当課（長寿政策課）へ報告し連携を図るなか、虐待が疑われる高齢者に対して速やかに状況確認を行い、介護支援専門員とともに介護サービスの利用調整や介護者の心身の介護負担の軽減に努めました。

【権利擁護相談（成年後見制度・権利擁護事業の利用等にかかる相談）】（市全体 相談件数：333件）

単位：件	項目	令和3年	令和4年	令和5年
南部	相談延べ件数	148	182	112
中部	相談延べ件数	131	84	34
北部	相談延べ件数	256	237	187

【虐待通報件数】（市全体 相談件数：33件）

単位：件	項目	令和3年	令和4年	令和5年
南部	相談延べ件数	19	10	6
高齢者人口 6,567人	うち認定件数	11	5	4
中部	相談延べ件数	14	7	10
高齢者人口 5,082人	うち認定件数	7	6	8
北部	相談延べ件数	11	18	17
高齢者人口 7,528人	うち認定件数	5	14	9

・独居高齢者等で判断能力が低下している人の緊急搬送、介護サービスの利用、住み替え、家族を含めた金銭管理の問題、虐待対応等から、成年後見制度・権利擁護事業の利用支援を行いました。

・虐待支援ネットワークを活用し、虐待の対応・支援の方向性について有識者から助言いただきました。



3 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

介護サービスの利用支援を行う介護支援専門員等へのサポートを通じ、介護支援専門員の資質向上および高齢者への支援に努めました。

【ケースカンファレンスへの出席（圏域包括）】（市全体 相談件数：95件）

単位：件	項目	令和3年	令和4年	令和5年
南部	相談延べ件数	76	58	28
中部	相談延べ件数	54	38	24
北部	相談延べ件数	109	72	43

・同行訪問やケースカンファレンスへの出席等を通して個々の介護支援専門員へのサポートを行っています。

【ケアマネジャー研修の開催（基幹型）】

	項目	令和3年	令和4年	令和5年
基幹型	回数（回）	5	5	2
	延べ参加者（人）	212	183	76
	1回あたり平均参加者（人）	42.4	36.6	38

【「地域で支え合う」を考える勉強会】



【ケアマネジャーと関係機関との研修の開催（北部）】

	項目	令和3年	令和4年	令和5年
北部	回数（回）	3	2	3
タイトル： 「地域で支え合う」を考える勉強会	延べ参加者（人）	ケアマネ35人 民生委員43人 その他17人	ケアマネ26人 民生委員15人 その他10人	ケアマネ24人 民生委員37人 その他16人



4 介護予防ケアマネジメント

総合事業対象者および要支援1・2と判定された人のケアマネジメントを行いました。
また、サービス担当者会議への出席を行い、介護予防サービスの円滑な利用支援および適正な給付管理を行いました。

【サービス担当者会議】

項目	令和3年	令和4年	令和5年
サービス担当者会議出席	328件	368件	273件
プラン確認	220件	308件	59件

【介護予防サービス計画作成】

項目	令和3年	令和4年	令和5年 (11月末)
総合事業対象者および要支援1・2 (サービス利用者・実数)	614件	626件	684件
ケアマネジメント数(委託)	7,319件	7,716件	3,981件
(直営)	13件	0件	0件



・要支援対象者が増えているため、介護予防サービス計画作成の居宅介護支援事業所への委託件数は増加傾向です。介護予防サービス計画作成は、介護度によりケアマネジャーが変更となることがないように、要支援から居宅介護支援事業所への委託を推進しています。

5 在宅医療・介護連携推進事業

地域包括支援センター内に在宅医療・介護連携サポートセンターを設置し、退院時の支援、在宅での療養支援、急変時の対応や在宅看取り支援体制等の整備を進めています。「ACPのさらなる推進」を重点目標とし、在宅医療を支える多職種連携の構築に取組み、研修での意見交換等を通じて、支援機関による顔の見える関係づくりに努めました。

令和5年度は、エンディングノート第2版の活用促進のため、「これからの人生で大切にしたいことは何か」をテーマにしたグループワーク形式の出前講座を開催しています。エンディングノートを「知る」段階から「書く・活用する」段階にステップアップし、家族や大切な人と思いを共有することの大切さを伝えることで、ACP（人生会議）の認知度の向上に努めました。

【在宅医療・介護連携推進事業】

※在宅医療・介護連携サポートセンターで実施

事業名	事業内容	令和3年	令和4年	令和5年
出前講座	医療・介護サービス、在宅看取り等に関する講話エンディングノート講座	3回 延べ23人参加	15回 延べ242人参加	6回 延べ91人参加
守山顔の見える会	多職種、地域関係者を対象とした研修会 (令和5年度からグループワークを再開) 主なテーマ：緩和ケア、感染症対策、グループケア、在宅歯科診療など	3回開催 延べ112人参加 ※3回中止	6回開催 延べ328人参加 ※8月～オンライン併用開催	3回開催 延べ184人参加 ※6月～グループワーク再開
看取りケア研修会	在宅看取りをテーマとした研修会 (講話、グループワーク) テーマ：ACPの取組について、事例検討	2回開催 延べ44人参加	2回開催 延べ84人参加 ※1日目は守山顔の見える会との合同開催	令和5年11月2日(木)・24日(金)開催
在宅療養・在宅看取りに関する啓発	令和3年度、令和4年度： 在宅医療・在宅看取り講演会 令和5年度： 在宅療養・看取りに関する啓発展示 エンディングノート講座	188人参加 ※感染対策のため 事前予約制	119人参加 ※感染対策のため 事前予約制	啓発展示：令和5年10月31日(火)から11月8日(水)まで @守山市立図書館ギャラリー 講座：令和5年11月7日(火) @守山市立図書館多目的室

・令和4年度に実施した在宅療養・医療および看取りに関する意識調査を取りまとめ、これまでの取組の評価および今後の課題について検討し、ACPのさらなる推進を目指します。

6 認知症総合支援事業①(認知症に関する普及啓発)

重点

「新オレンジプラン」および令和5年6月に制定された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」を踏まえ、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、認知症に関する普及啓発、認知症の早期発見・早期支援、認知症高齢者や介護家族に対する支援に努めました。

【認知症サポーター養成講座】

単位：件	対象者	令和3年	令和4年	令和5年
基幹	市内事業所、市民	3回開催 延べ57人参加	9回開催 延べ101人参加	6回開催 延べ147人参加
基幹（上級編）	中学2年生	6回開催 延べ870人参加	3回開催 延べ818人参加	12月に実施予定 4回延べ926人
小学校	小学6年生	7回開催 延べ660人参加	7回開催 延べ814人参加	3回開催 延べ287人参加
南部	自治会等	—	3回開催 延べ41人参加	2回開催 延べ54人参加
中部	自治会等	1回開催 延べ13人参加	4回開催 延べ109人参加	令和5年12月 実施予定
北部	自治会等	9回開催 延べ149人参加	2回開催 延べ41人参加	2回開催 延べ45人参加

子どもへの理解促進の推進に努めています。県立中学校における開催についても検討しています。



【キャラバン・メイト】連絡会や認知症サポーター養成講座等へ出動いただく他、個々の活動の中で認知症の正しい知識の普及啓発に努めていただきました。養成講座では、寸劇などのご協力をいただきました。

	令和3年	令和4年	令和5年
キャラバン・メイト連絡会 (基幹型)	6回開催（実19人、 延べ45人参加）	12回開催（実17人、 延べ107人参加）	6回開催（実14人、 延べ56人参加）
キャラバン・メイト出動状況	10回出動 (延べ36人)	10回出動 (延べ36人)	10回出動 (延べ36人)

令和5年11月に4市合同のキャラバン・メイト養成研修で、包括職員や施設職員、一般市民など本市では14人が養成研修を受講しました。

認知症総合支援事業②(認知症の早期発見・早期支援)

重点

【認知症初期集中支援チーム】 (市全体 対応人数：13人、事例検討2例)

認知症が疑われる人やその家族に対し、専門職がチームを組んで訪問等を行い、認知症の初期・支援開始の初期に包括的・集中的に受診や介護サービス導入などの支援を実施しました。

単位：件	項目	令和3年	令和4年	令和5年
南部	相談実人数	4	3	2
中部	相談実人数	22	11	3
北部	相談実人数	18	11	8

- ・アドバイザーの助言・指導による対象者支援方法の見直し等、認知症初期集中支援チームの活動強化を行いました。
- ・困難ケース等の事例検討を行い、支援の振り返りと早期介入の必要性について検討しました。

【もの忘れチェック】 (合計8回 延べ14人実施)

介護予防教室や訪問・来所相談時に、タッチパネルと問診表を用いた簡易検査を行うことで、認知症の早期発見や認知症に関する啓発等を行いました。

	令和3年	令和4年	令和5年	対象者
物忘れチェック	20回 111人実施	23回 178人実施	8回 14人実施	・介護予防教室 ・総合相談(来所・訪問)



介護予防事業や相談対応時に、認知症ケアパスを活用し、認知症予防の取り組みや相談窓口の周知啓発に努めました。

認知症総合支援事業③

(認知症高齢者や介護家族に対する支援)

【家族介護者訪問】

介護保険認定調査項目のうち、「徘徊」「介護への抵抗」にチェックが入るなど介護負担が特に大きいと考えられる認知症の人を介護する家族への訪問を実施し、困りごとの聞き取りや問題解決への支援を行うことで、介護負担の軽減、虐待の予防に取り組みました。

項目	令和3年	令和4年	令和5年
対象者数	203人	250人	74人
訪問	62人	53人	26人
電話相談	73人	53人	8人
窓口相談	5人	8人	1人
その他 (ケアマネからの聞き取り等)	63人	100人	39人

認知症高齢者を介護する介護者の心身の介護負担を把握し、ケアマネジャーや認知症専門医・主治医等と連携を図る中、受診や医療・介護サービスの利用支援等により、介護者の負担軽減に努めました。



認知症総合支援事業④

(認知症高齢者や介護家族に対する支援)

【みまも〜り〜カフェ（認知症カフェ）】（合計18回 延べ277人参加）

高齢者およびその家族が気軽に参加でき、相談できる場として各圏域でみまも〜り〜♡カフェを開催しました。
また、認知症サポーターが参画する地域カフェを、「みまも〜り〜♡カフェ」（認知症カフェ）として認定し、地域での居場所づくりを推進しました。



	カフェ名	令和3年	令和4年	令和5年
南部	お結びカフェ	6回開催 延べ62人参加 ※コロナにより5回中止	11回開催 延べ229人参加	6回開催 延べ126人参加
中部	こもればいカフェ	令和4年3月開催 4人参加	12回開催 延べ97人参加	6回開催 延べ64人参加
北部	オレンジカフェほっこり庵〜絆	7回開催 延べ98人参加 ※コロナにより4回中止	10回開催 延べ160人参加	6回開催 延べ87人参加
地域における 認定カフェ	(守山市認定) みまも〜り〜♡カフェ	13か所 ※南部7か所 中部4か所 北部2か所	12か所 ※南部6か所 中部4か所 北部2か所	12か所 ※南部6か所 中部4か所 北部2か所



認知症高齢者や介護者への参加勧奨を行い、高齢者の居場所や相談・意見交換の場としての周知啓発に努めました。

認知症総合支援事業⑤

(認知症高齢者や介護家族に対する支援)



重点

【行方不明高齢者等SOSネットワーク】

市内を業務区域とするバス会社、タクシー会社、郵便局、コンビニエンスストア、介護事業所等にご協力をいただき、見守り支援を行いました。また、令和元年11月から開始した行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録事業において、行方不明となる可能性のある高齢者等の情報を事前に登録いただき、警察、消防等と情報共有することで、行方不明発生時の早期対応・早期発見に努めました。

	令和3年	令和4年	令和5年	備考(令和5年度内訳)
行方不明高齢者等発生状況	延べ29件、実23人 (延べ13件対応 延べ16件事後報告)	延べ25件、実23人 (延べ12件対応 延べ13件事後報告)	延べ14件、実12人 (延べ9件対応 延べ5件事後報告)	南部7件、中部4件、北部2件、市外施設1件 <状況内訳> 行方不明時GPS利用 1件 発生時事前登録済み 9件 行方不明後の登録 3件
発見状況	市内23件 市外6件	市内19件 市外6件	市内12件 市外2件	警察6件、地域住民4件、家族・親族2件、自力帰宅1件、その他1件
SOSネットワーク配信	3件	5件	2件	安全・安心メール2件
安全・安心メール登録者数	9,696件	10,047件	9,938件	登録者へ行方不明高齢者情報を配信
行方不明高齢者等SOSネットワーク協力機関数	64事業所	72事業所	81事業所	平和堂、移動スーパー、一般企業等追加
行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録者数	55人 (累計135人)	62人 (累計197人)	27人 (累計224人)	男性 10人、女性 17人 うち、行方不明歴あり 12人 介護認定あり 26人

事前登録者の増加により、市民や警察に保護された際の身元の確認が早く実施でき、早期帰宅につながっています。引き続き、SOSネットワーク事前登録について介護支援専門員、医療機関への周知や、家族介護者訪問の機会などを活用し、対象者へ登録勧奨を行います。また、SOSネットワーク協力機関への登録勧奨を市内事業所等に行うことで、見守り支援者の増加につなげ、行方不明高齢者等の早期発見に努めます。

7 地域ケア会議推進事業

個別事例に共通する地域課題を整理し、見出された地域課題の解決に向けた対応策を検討するため、地域ケア会議を開催しました。

	項目	令和3年	令和4年	令和5年 9月末	見出された地域課題等（令和5年度内訳）
基幹型	地域ケア推進会議	2回開催	2回開催	1回開催	推進会議では、地域での取り組みについての情報提供や、生活支援体制整備事業、認知症施策、一般介護予防事業等に関する意見、提案をいただいた。 《個別会議から》 ・各分野の関係機関との連携強化。 ・それぞれに課題のある家族員への支援については、支援者間の情報共有、検討の場が必要。
	地域ケア個別会議（定期開催）	3回開催 9事例	4回開催 8事例	2回開催 4事例	
南部	地域ケア個別会議（随時開催）	10回開催 10事例	8回開催 6事例	4回開催 4事例	・重層的な課題のある家族への支援体制の構築。（アルコール依存、認知症、精神疾患等） ・認知機能の低下がある人の意思決定支援。
中部	地域ケア個別会議（随時開催）	1回開催 1事例	7回開催 3事例	4回開催 2事例	・多頭飼育、複合的な課題への支援体制の構築。 ・若年認知症の人の権利擁護。
北部	地域ケア個別会議（随時開催）	1回開催 1事例	8回開催 8事例	2回開催 2事例	・精神疾患がある人への支援体制、連携強化。 ・地域での認知症に対する理解の醸成。

・複合的な課題を抱え、課題の解決が難しいケースについては、関係課や支援者間の連携により対応支援に努めています。また、過去に上がった地域の課題解決に向けて、担当課と協議を進めている所です。

8 一般介護予防事業①

重点

高齢者等が自主的に介護予防に取り組んでいただけるよう、出前講座での知識・情報の提供や、生活機能の維持向上を目的とした介護予防教室を開催しました。

【出前講座】（合計59回 延べ1,658人参加）

地区会館や自治会館等で実施されるサロン等に講師（医療・介護専門職）を派遣し、介護予防、認知症、高齢者虐待等に関する知識の普及啓発を行いました。

	対象者	主な内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度 9月末現在
基幹型	市全域、団体等	介護予防・健康づくり、在宅医療・介護、認知症サポーター養成講座、物忘れチェック、権利擁護・虐待等 ※認知症サポーター養成講座のみ再掲	18回開催 延べ1,058人参加	57回開催 延べ1,703人参加	11回開催 延べ285人参加
南部	各圏域の 自治会、団体等		13回開催 延べ512人参加	25回開催 延べ977人参加	15回開催 延べ489人参加
中部			15回開催 延べ395人参加	19回開催 延べ511人参加	8回開催 延べ379人参加
北部			25回開催 延べ633人参加	42回開催 延べ1,103人参加	25回開催 延べ505人参加

基幹型地域包括支援センターでは、市の健康課題について福祉協力員向けに出前講座を実施しました。在宅医療・介護連携サポートセンターでは、「エンディングノート」をテーマにした出前講座を実施しました。



一般介護予防事業②

【各圏域地域包括支援センター主催による介護予防教室】（合計18回 実41人 延べ189人参加）

居場所づくりや通いの場への参加のきっかけとなるよう、各圏域地域包括支援センターで介護予防教室を行いました。

	教室名	内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度 9月末現在
南部	いきいきプロジェクト (旧: Let'sトライ 8)	守山いきいき百歳体操、もりやまプラス 体操、脳トレを実施。 終了後3ヵ月後にフォローアップ(体力 測定、通いの場への参加勧奨)を実施。	8回開催 実12人参加 延べ69人参加	8回開催 実15人参加 延べ59人参加	R5. 11月から開催中 全5回の予定
中部	今日からはじめる フレイル予防	「栄養」、「口腔ケア」、「認知機能向 上」、「運動」、「社会参加」をテーマに 様々な専門職が講義や守山健康のび 体操・守山百歳体操の実技を実施。	1回開催 実17名参加	5回開催 実11人参加 延べ37人参加	5回 実14人参加 延べ43人参加
北部	ワンステップチャレン ジ教室	地域のりハ職と共同し、参加者自身の 健康状態を知ってもらい、家庭でも継続 してできる運動を実施。	8回開催 実10人参加 延べ47人参加	5回開催 実15人参加 延べ93人参加	5回開催 実22人参加 延べ82人参加

・北部地区地域包括支援センターでは、地域の理学療法士を講師に招き、守山百歳体操や守山プラス体操の具体的な運動の効果について説明いただき、体操や運動を継続することの必要性を再認識してもらった機会になりました。



【ワンステップ チャレンジ 教室】（北部）

一般介護予防事業③

重点



【基幹型地域包括支援センター主催による介護予防教室】

介護予防に取り組むきっかけとなるよう、各体操別に介護予防教室を行いました。

令和4年度から、介護予防に必要な知識や情報、および介護予防に取り組むきっかけづくりを目的とした「65歳からの過ごし方教室」を開催し、フレイル予防やエンディングノートの活用について、普及啓発に努めました。

教室名	参加対象者	令和3年度	令和4年度	令和5年度 9月末現在
いきいき+ トレーニング	令和元年・2年度：65歳以上の市民 令和3年度から：自治会単位	実施希望自治会を 募集したが、応募 なし	3自治会に開催 (梅田、弥生の里、 笠原)	1自治会に開催 (森川原)
健康のび体操 教室	教室終了後、既存の自主グループ活動に参加する 人、または新規に自主グループを運営する人	8回開催 延べ61人参加 実15人参加	5回×2会場開催 実15人 延べ65人	5回×1会場開催 実9人 延べ42人
65歳からの 過ごし方教室	65歳以上の市民	-	5回×3会場開催 実40人 延べ177人	5回×3会場開催 実42人 延べ170人

【通いの場の活動支援】（合計：100グループ 目標：105グループ）

地域の身近な場所で継続して介護予防に取り組めるよう、ご希望のグループに対し、年1回の体力測定や健康教育を実施しています。

単位：グループ	令和3年度	令和4年度	令和5年度
守山百歳体操	73	75	74
守山健康のび体操	21	25	25

介護予防教室終了後や、自治会等からの自主グループの立ち上げの依頼により、通いの場の活動に繋がっています。

9 任意事業・その他事業

【家族介護者教室】（合計7回 延べ136人）

介護をしている人や介護に関心のある市民を対象に、介護の知識・技術の習得および情報共有・情報交換の場として、家族介護者教室を開催しました。



	主な内容	令和3年	令和4年	令和5年
南部	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度について ・認知症について ・高齢者の住環境・福祉用具の活用 ・介護技術 ・認知症サポーター養成講座 ・介護者のリラクゼーション、 ・要介護者と介護者の口腔ケア等 	延べ48人参加（全5回）	延べ61人参加（全5回）	延べ33人（全3回）
中部		延べ22人参加（全2回）	延べ28人参加（全5回）	R6.2～3月（全5回） 予定
北部		延べ78人参加（全5回）	延べ63人参加（全4回）	延べ103人参加(全4回)

北部地区では、教室実施後、介護者の集い（30分）を開催し、延べ33人の参加がありました。短い時間ではありましたが、日頃感じている事などを話し合う機会となりました。参加者からは、「気持ちが軽くなった」との声が聞かれました。

【その他】

南部地区では、小津学区に出向いて相談会の開催等に取り組みました。



	教室名	内容	令和3年	令和4年	令和5年
南部	小津介護なんでも相談会	出張相談	2回 延べ1人参加	—	—
	いきいきプロジェクトIN小津	体操、脳トレ等	2回 延べ17人参加	3回 延べ13人参加	R6.2月頃開催予定 で計画中